



4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗原ブランドの確立・支援事業


1,003万円

(担当：産業戦略課 商工振興係)

「栗原ブランド」認定制度の継続とインターネットなどを活用した独自の直売ルートの開拓と各分野の事業者が連携した新たな商品開発を支援しました。

また、栗原の魅力や商品を全国に発信し、栗原ブランドの確立を図りました。



 くりはらみぞれ鍋



栗原ブランド認定品 (平成25年3月末現在26品目)

農地集積支援事業

636万円

(担当：農林振興課 農政係)

安定した土地利用の確保と担い手の経営規模の拡大を図るため、農地集積の誘導助成を行いました。(104件)

ペレットストーブ購入事業 83万円

(担当：農林振興課 林業振興係)

森林資源の有効活用と二酸化炭素削減の啓発を図るため、「金成温泉延年閣」にペレットストーブを設置しました。



金成温泉延年閣に設置したペレットストーブ

くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

3,013万円

(担当：畜産園芸課 畜産振興係)



栗原和牛ブランド戦略として、産肉能力の高い茂洋の確保・強化と優良和牛の産地づくりを図るため、市内で生産された優秀な繁殖・肥育素牛を自家保留またはみやぎ総合家畜市場から導入した畜産農家に対し、助成しました。(570頭)



優良和牛の産地化を目指します
(第10回全国和牛能力共進会長崎大会)

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

第2大林農工団地整備事業

668万円

【H25年度への繰越額 3,532万円】

三峰工業団地整備事業

2,737万円

【H25年度への繰越額 3,997万円】

(担当：産業戦略課 企業戦略係)

若者の定住促進や安定的な雇用の場の確保、地域経済の活性化を図るため、工業団地の整備に向けた地域説明会の開催や関係機関との協議、設計業務などに取り組みました。



第2大林農工団地整備予定地（若柳）



三峰工業団地整備予定地（築館）

雇用拡大奨励金

900万円

(担当：産業戦略課 商工振興係)

若者の市内定住及び市内企業等への人材確保を図るため、新規卒業者等（市内に住所を有する高等学校卒業後3年以内までの者）を新たに常時雇用した市内企業に対し、雇用者数に応じて助成しました。

企業立地促進奨励金

1,077万円

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じ固定資産税相当額を助成しました。（3社）

雇用促進奨励金

220万円

市内に住所を有する者を3人以上新たに常時雇用した市内企業に対し、その雇用者数に応じて助成しました。（4社：交付対象新規雇用者数22人）

(担当：産業戦略課 企業戦略係)



就職希望高校生と市内企業の出会いの場
「くりはらジョブ・フェア2012-夏」の様子

新産業創出支援事業

480万円

(担当：産業戦略課 企業戦略係)

新たな産業と雇用の創出に向けて、市内の企業が大学や研究機関などとの連携による新製品の研究・開発に対して助成しました。

大学連携事業

275万円

(担当：企画課 企画係)

市と慶應義塾大学は、地球温暖化による気候変動が及ぼす自治体への影響やその対応策の検討に取り組んでいます。（「グリーン社会ICTライフインフラ」研究プロジェクト）

平成24年度は、最先端の情報通信技術を活用したエネルギー消費の測定とエネルギーの効率的利用を図る仕組みや遠隔からの健康相談・疾病予防を図る仕組みづくり、災害発生時の情報通信などの研究を行いました。

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

拡 広域観光戦略推進事業

48万円

(担当：田園観光課 観光企画係)

秋田県・宮城県・岩手県の3市1村にまたがる栗駒山の豊かな自然資源、動植物、温泉、歴史や独特の文化など、多彩な魅力の掘り起こしを目的として、「ゆっくりひとめぐり栗駒山麓観光写真コンクール」などの観光振興事業を県域を越えた広域的な連携により、実施しました。

第2回「ゆっくりひとめぐり」栗駒山麓観光写真コンクール
最優秀賞作品 「栗峰翔る白鳥」



新 国際交流フェア事業

129万円

(担当：市民協働課 地域振興係)

高校生を対象に実施している海外派遣事業の派遣先であるスウェーデンとの交流や市国際交流協会の活動を紹介しながら、異なる文化や伝統に触れ、交流を深めました。



「スウェーデン・フェスティバル in くりはら」
歓迎レセプションの様子

拡 栗駒山麓崩落地・景観活用事業

1,479万円

(担当：田園観光課 観光企画係)

平成20年岩手・宮城内陸地震による大規模崩落地や伊豆沼・内沼、旧細倉鉱山などの自然資源を活用した「栗駒山麓ジオパーク構想」を推進し、防災教育や学術研究、観光振興などの新たな地域活性化などに取り組み始めました。



荒砥沢地すべり崩落地

観光施設整備事業

5,345万円

(担当：田園観光課 観光振興係)

栗駒山麓の観光拠点であるハイルゲーム栗駒、栗駒コテージなど市内観光施設の整備を行いました。

拡 チャレンジショップキーパー支援事業



151万円

(担当：産業戦略課 商工振興係)

商店街の活性化に向けて、空き店舗を活用し出店する事業者に対して、賃借料や店舗改装費を助成しました。

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

(1) 小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

住民自治活動助成事業

5,702万円

(担当：市民協働課 市民協働男女参画係)

地域コミュニティ組織（自治会・コミュニティ推進協議会）の創意工夫による自立的なコミュニティ活動を支援するため、一括交付金を交付しました。

■ 交付組織数 自治会：251 組織
コミュニティ推進協議会：15 組織



地域コミュニティ活動の様子

(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

市民活動支援センター運営事業

771万円

(担当：市民協働課 市民協働男女参画係)

市民活動団体やボランティア団体など、市民活動を行う方々の活動拠点として運営を行い、市民活動の活性化を促進しました。

(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います

総合支所整備事業

3億3,713万円

【H25 年度への繰越額 4億368万円】

(担当：管財課財産係)

東日本大震災により被災・移転した清水、瀬峰、志波姫の各総合支所の新築、改築工事を行いました。



新築工事を進めている瀬峰総合支所

市役所本庁舎等改修事業

1億7,208万円

【H25 年度への繰越額 2億275万円】

(担当：管財課財産係)

市役所の利便性を高めるため、会議室などの増築工事を行いました。



増築工事を進めている市役所本庁舎

6 「震災からの復興を成し遂げ 発展していくまち」

(1) 社会生活基盤の早期復旧を図り 市民生活の再建を支援します

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 志波姫小学校災害復旧事業

14億4,244万円

【H25年度への繰越額 6億5,658万円】

(担当：教育総務課 教育施設係)

東日本大震災により被災した校舎及び体育館の解体、建設工事等を行いました。



完成した志波姫小学校体育館の様子

新 金成萩野保育所応急仮設施設事業

2,058万円

(担当：子育て支援課 保育サービス係)

東日本大震災により建物と敷地が被災し、萩野公民館で保育を実施している金成萩野保育所施設を建設し、安心して子どもを預けられる環境を整備しました。



金成萩野保育所 (応急仮設施設)

ブロック塀等除去・生垣等設置助成事業

85万円

(担当：建築住宅課 建築係)

地震などの災害によるブロック塀などの倒壊を防止し、安全な住環境にするため、道路に近接したブロック塀などの除却と生垣の設置に対して助成しました。(8件)

(2) 市民協働による災害に強いまちづくりを推進します

新 災害用備蓄品整備事業

212万円

緊急時の市民の生命に影響する「救急・救命活動」及び「水の供給」などを継続可能とするため、燃料については1週間程度分を備蓄し、食品については計画的に備蓄しました。



緊急時の備えとして計画的に備蓄しました

新 自主防災組織備品の拡充事業

1,638万円

自主防災組織が防災備品等を保管する防災倉庫の整備に対して助成しました。(105件)

(担当：危機対策課 防災係)





整備した防災倉庫 (若柳 有賀地区)

6 「震災からの復興を成し遂げ 発展していくまち」

(3) 福島第一原子力発電所からの放射性物質拡散への

備えを進め 安全・安心な暮らしを守ります

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

放射能除染対策事業

2億8,314万円

(担当：放射能対策室 放射能対策係)

【H25年度への繰越額1億920万円】

市民の放射能に対する不安や地元経済への風評被害を解消するため、除染実施計画を策定し、放射能の影響を受けやすい子どもの生活空間(保育・教育施設、公園など)を優先に除染作業を進めました。

■ 除染業務

保育・教育施設：14施設 公園・公共施設：4施設

■ 放射能測定業務

持込みによる食品等検査：3,744検体

出前式空間放射線量測定：215件

井戸水等の放射線量測定：214件



盛土による除染作業の様子(萩野第二小学校)

農林水産物等放射能調査事業

642万円

(担当：農林振興課 農政係)

放射能による風評被害を防止し、安全・安心な栗原産の農林産物を消費者に提供するため、米、大豆、野菜、特用林産物などの農林産物や土壌、堆肥などの放射性物質を測定しました。

■ 農林水産などの放射性物質検査 279検体

放射性物質吸収抑制対策事業

2億60万円

(担当：農林振興課 農政係)

安全・安心な農産物の生産を確保するため、放射性セシウムが確認された水稻・大豆ほ場で吸収抑制対策を講じました。

■ 塩化カリ配布 水稻 一般対策地域 6,934ha (5 kg/10a) 重点対策地域 3,982ha (10 kg/10a)
大豆 895ha (15 kg/10a)

原子力災害健康不安対策調査事業

4,902万円

(担当：健康推進課 健康推進係)

放射性物質による市民の健康不安を払しょくすることを目的に、医療機関での放射性物質内部被ばく線量測定を実施し、その費用助成を行いました。

また、平成25年度から栗駒保健センターにおいて、放射能内部被ばく線量測定を実施するため、ホールボディカウンタの購入と施設改修などの準備を行いました。